



財団法人 岩手県予防医学協会
事業年報 2012
平成 22 年度 vol.40

Iwate health Service Association



私たちは、生涯にわたる健康づくりのパートナーとして、
歩みつづけています。



発刊にあたって

平成20年4月に「高齢者医療確保法」に基づいてスタートした特定健診・特定保健指導は、初年度に大幅に落ち込んだ特定健診の受診率は3年目の平成22年度も横ばい状態で、同様に特定保健指導の実施率も伸び悩んでおり大きな課題となっています。

また、職場健診におきましては、平成17年の労働安全衛生法等の一部改正や労働者の心の健康の保持増進のための指針等によりメンタルヘルス対策が課題として挙げられ、平成20年度を初年度とする労働災害防止計画においても重点施策として推し進められております。

このように保健事業を取り巻く環境が広がりをもってきており、我々健診機関への期待と役割はますます高まってきていると感じています。

さて、平成22年度の事業は協会全体として前年度対比98.1%とやや減少しました。部門別に見ますと、少子化の影響で減少が続いている学校保健部門は対前年比94.4%でした。また、特定健診の受診率が伸び悩んでいる地域保健部門は対前年比99.3%と落ち込んでいます。昨年若干落ち込んだ産業保健部門は対前年比101.3%とやや持ち直しました。一日人間ドックと専門ドックおよび環境保健部門はそれぞれ対前年比105.2%、108.4%、100.3%と若干増加しております。

昨年3月に起こった東日本大震災では県内12の市町村が被災し、被災市町村においては当初「健康診断」を口にする事すらできない状況でしたが、少しずつ環境が落ち着き将来のことを考え始めた時に出てきたのが『健康』への関心でした。毎年実施していた健診を受けたいという受診者の声はもとより、市町村健診担当者の健診を受けさせたいという熱意と関係者の支援のもと、被災市町村を含め県内すべての市町村で健診を実施することができました。このことにより、日頃から私たちが行ってきた健診が如何に大切なものであったかを再認識いたしました。

保健事業を取り巻く環境は、健診や保健サービス事業者の新規参入や他機関との競合といった要素に加え、昨年3月に起こった東日本大震災が追い打ちをかけた形になり、ここしばらくはますます厳しい事業運営が予測されます。

しかし、行政をはじめとして医師会やJAなど関係機関との密接な協力体制の下で、事業内容の充実と一層の経営努力を図り、県民の信頼と要望に応えられるよう職員一丸になり取り組んで参りたいと思います。

このたび平成22年度の事業年報40号を発刊する運びとなりました。ご高覧の上ご意見ご指導を賜れば幸いに存じます。

平成24年3月26日

財団法人 岩手県予防医学協会
会長 高橋 牧之介

基本理念・基本方針

I. 基本理念

岩手県民の健康と福祉に寄与する

II. 基本方針

1. 私たちは、健康診断を通じ、県民の健康寿命の延伸、健康度の向上に努めます
2. 私たちは、健康の保持増進に視点を置き、県民が健康で豊かな生活を営むことができるよう支援します
3. 私たちは、常に高い技術と最新の知識の習得に努め、生命尊重の精神によるサービスを提供します

財団法人岩手県予防医学協会

お客様の権利と責務

1. 個人として常に人格を尊重され、良質なサービスを公平に受ける権利があります
2. 自分が受けている医療サービスについて、十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 個人情報やプライバシーについて保護される権利があります
4. 自分が受ける医療サービスを理解し、自ら決定する権利があります
5. 受診に必要な健康状態に関する情報を正確に伝える責務があります

財団法人岩手県予防医学協会

人事理念・人事基本方針・期待される職員像

I. 人事理念

笑顔を創造する人の育成

II. 人事基本方針

1. 自分の役割に責任を持ち、協働して仕事を進めていける環境をつくる
2. 自主的に能力向上に取り組み、チャレンジできる環境をつくる
3. モチベーションを高める環境をつくる

III. 期待される職員像

1. ビジネスパートナーの笑顔を創造する人
2. 自分の仕事に喜びを感じ、生き活きと仕事ができる人
3. 高い専門能力を有する人
4. 常に問題意識を持ち、創造工夫のできる人
5. 社会に貢献し模範となる人

財団法人岩手県予防医学協会

個人情報保護方針（プライバシーポリシー）

財団法人岩手県予防医学協会は、個人情報保護に関する法令及びその他の規範を遵守し、次のとおり個人情報保護方針を定め、お客様の個人情報保護に厳重な注意を払ってまいります。

1. 当協会は、個人情報保護に関する法令及びその他の規範を常に最新の状態に維持するとともに、これを遵守いたします。
2. 当協会は、お客様の個人情報を取り扱うにあたり、収集、利用、提供、開示、預託を適正に行い、特に個人情報の破棄に関しては万全を期します。
3. 当協会は、故意又は過失により、個人情報が漏洩、改ざん、消去、紛失、窃取、または不正に利用されることがないように十分なセキュリティー対策を講じ、安全管理に努めます。
4. 当協会は、個人情報に関する＜個人情報保護計画＞を策定し、実施、維持及び継続的改善に努めます。
5. 当協会のすべての役員及び職員に対し、個人情報保護に関する教育を定期的かつ徹底して行い、その知識及び運用を維持します。
6. 当協会は、個人情報はお客様ご本人以外には原則提供いたしません。ただし、市町村や事業所、健康保険組合などが主催する健康診断等の結果につきましては、主催団体から照会があれば、お客様ご本人の同意が得られている範囲内においてお知らせいたします。
7. 上記の基本方針に関するお問合せは、下記までお願いいたします。

お客さま相談窓口

TEL：019-638-7185

FAX：019-637-1239

E-mail：info@aogiri.org

平成17年4月1日 制定

財団法人 岩手県予防医学協会
会長 高橋 牧之介



目次

発刊にあたって

会長 高橋 牧之介



総括

1. 平成22年度事業の概要1
2. 検査・健診実施状況4
3. 主な検査・健診実施数の年度別推移6
4. 判定基準（平成22年度版）8



部門別事業報告

I 学校保健

- 寄生虫検査 17
- 尿検査 19
- 心臓検診 30
- 脊柱側弯検診 44
- 貧血検査 46
- 生活習慣病予防健診 50
- 脂質検査 54
- 学生健診 55
- 胸部検診 56
- 血圧測定 56
- その他各種検査 56

II 地域保健

- 特定健康診査／後期高齢者健康診査 57
- 若年者健康診査／婦人の健康診査 75
- 骨粗鬆症予防検診 78
- 結核検診 80
- 肺がん検診 82
- 子宮がん検診 84
- 乳がん・甲状腺検診 85
- 大腸がん検診 86
- 前立腺特異抗原（P S A）検査 87
- 肝炎ウイルス検査 88
- その他各種検査 90

III 産業保健

- 一般健康診断 91
- 特殊健康診断 100
- 全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診 106
- 生活習慣病健診 113
- 労災健康保険二次健康診断 120

肺がん検診	121
大腸がん検診	121
腸内細菌検査	121
その他各種検査	122
Ⅳ 人間ドック	
一日人間ドックとオプション検査	123
専門ドック	129
Ⅴ 生活機能評価	133
Ⅵ 追跡調査結果	135
1. 胃がん検診追跡調査結果（平成21年度）	136
2. 肺がん検診追跡調査結果（平成21年度）	138
3. 子宮がん検診追跡調査結果（平成21年度）	142
4. 乳がん検診追跡調査結果（平成21年度）	144
5. 大腸がん検診追跡調査結果（平成21年度）	146
6. 前立腺特異抗原検診追跡調査結果（平成21年度）	148
7. 至急連絡による追跡調査結果（平成21年度）	150
8. 肝炎ウイルス検診追跡調査結果	154
Ⅶ 環境調査	159
Ⅷ 母子保健	161
Ⅸ 健康支援	163
X 結核予防	167
XI 諸行事	169



協会概要

1. 組織概要	175
2. 組織図	176
3. 職員構成	177
4. 役員・専門委員等名簿	178
5. 施設概要	188
6. 機器整備	191
7. 精度管理実施状況	193
8. 許可・認可等	195
9. 全国組織とのかかわり	195
10. 付属診療所	195



この事業年報は、財団法人岩手県予防医学協会が平成22年度（平成22年4月から平成23年3月）に実施した事業についてまとめたものである。

【数表の記号について】

- 百分率（%）は原則として小数点第2位を四捨五入し、第1位までを表示した。
- 平均および標準偏差は、母集団30人以上の場合に算出した。
- 表中の記号の用法は次のとおりとした。
 - 空白：係数がない場合
 - ：30未満のとき
 - …：表すことが不適当なとき
 - 0：比率がないとき
 - 0.0：比率が0.04以下のとき



総

括

1. 平成22年度事業の概要
2. 検査・健診実施状況
3. 主な検査・健診実施数の
年度別推移
4. 判定基準（平成22年度版）

1. 平成22年度事業の概要

(1) 全体

平成22年度の健診実施数は1,005,585件、前年度比98.1%であった。当協会の三本柱である学校保健、地域保健、産業保健各部門の実施状況を見ると、少子化の影響を受けた学校保健部門が94.4%と減少したものの、地域保健や産業保健部門についてはそれぞれ前年度比99.3%、101.3%とほぼ現状を維持する形となった。

一日人間ドックの実施数は今年度105.2%となり、緩やかながらドックセンター開設以降の上昇傾向を維持している。専門ドックは前年度比108.4%、一日人間ドックオプション検査は前年度比109.1%と受診率は上向きであった。その他、環境調査部門は前年度比100.3%と前年度を維持し、母子保健他は前年度比94.1%と減少した。

平成22年10月、当協会は創立40周年を迎えた。これまで県医師会やJ Aなど多くの関係団体の支援を受け、総合健康支援機関として今日まで成長することができた。近年、国の健康診断事業等にかかる見直しが図られており、総合健康支援機関としては厳しい状況の中、今年度新たにメンタルヘルス事業への取り組み開始や新コンピュータ健診システムの構築と、時代の変化・ニーズに合わせて常に新しい体制づくりを目指している。

(2) 主な部門別総括

■学校保健

検査・健診実施数は344,470件で、前年度比94.4%であった。少子化による児童生徒数減少に加えて、財政上の理由などによる対象学年の縮小も少なからず影響している。

2009（平成20）年に内容を見直された生活習慣病予防健診の実施数は、11,952件と前年度を下回る（前年度比85.1%）結果となった。今年度、約2/3の市町村と数校の高等学校が実施しているが、生活習慣病の根本は小児期にあると言われていたことから、もっと多くの市町村・学校へ受診を呼びかけて行きたい。

■地域保健

検査・健診実施数は345,721件で、前年度比99.3%であった。近年、肺がん検診の重要が増えており、今年度実施数71,554件、前年度比106.0%であった。

制度開始3年目となった特定健康診査および後期高齢者健康診査は、前年度の新規委託を受けて上向いた状態を維持する結果となった。しかし、県内の受診率は依然と40%前後と低いのが現状である。今後、国の政策・方針に基づき柔軟に対応すると共に、自治体との連携を深め、受診率の向上に寄与することが当面の課題となっている。

▼新コンピュータ健診システム「カルナス」



【受診者情報をバーコードで読取り】



【受診者情報をカードへ書き込み】



【採血管情報をバーコードで結びつける】



▲盛岡さんさ踊りに参加（2010.8）

■産業保健

検査・実施数は261,024件、前年度比101.3%であった。一般および特殊健康診断の前年度比はそれぞれ98.0%、93.5%となり、ここ数年実施事業場数の減少や人員削減などによる依頼の減少傾向が続いている。一方、全国健康保険協会（協会けんぽ）生活習慣病予防健診が着実にその実施数を伸ばしている。

近年、職場での健康診断の他に個人で受けたい検査を追加して受診する「プラス・ワン検査」が増えている。既定の項目は一般健康診断や生活習慣病健診で実施、同時に気になる検査を自己負担で追加するという手軽さが好評である。職場の健康診断も多種多様化しており、今後も一歩踏み込んだ健診がますます重要視されることだろう。そのニーズに応えていくよう、事業内容の充実に努めたい。

■環境調査

平成22年度実施した作業環境測定数は12,429件、作業環境以外の測定数は317件、計12,746件（前年度比100.3%）であった。管理濃度改正により、年々作業環境測定結果の評価が厳しくなっている中、今年度の区分は第1管理区分：71.6%、第2管理区分：13.0%、第3管理区分：15.4%と、前年度と比較して第1、第2管理区分の割合が増え、第3管理区分の割合が減少した。

作業環境測定以外の環境測定では、近年、学校を初めとし、公共施設などの室内空気環境の測定依頼が多くなっている。より健全な社会生活を送れるよう環境を整備するために、これらの検査の必要性をもっと訴えていきたい。

■人間ドック

一日人間ドック実施数は19,641件、前年度比105.2%と、経済不況の中、常に安定した実施数を保っている。専門ドックの実施数は、脳ドック451件、心臓ドック72件、肺ドック40件、レディースドック157件であった。前年度比はそれぞれ102.7%、114.3%、133.3%、118.9%と全てのコースで100%を越えた。レディースドックはコンスタントに増えており、女性スタッフによるレディース専用フロアでの実施が多く女性の女性に支持されている。

2010（平成22）年、初の試みとしてI G Rいわて銀河鉄道とのコラボ「贈る人間ドック」を企画した。設定価格が高額だったためか、利用者は僅かではあったが、「大切な人（家族）にいつまでも元気であってほしい」という思いから生まれたこの企画は手応えのあるものとなった。また、3月にはこちらも初となるおひな祭り企画として「レディースドック+ランチバイキング」を実施した。リーズナブルな価格でレディースドックを受けられ、さらにランチまたは温泉が付いてくるというこの企画は、多くの女性の賛同を得た。今後もお客様の視点に立ったお得な企画を打ち出して行きたい。

■追跡調査

追跡調査は、精密検査の受診率向上と健康診断の精度向上を目的としてがん検診を中心に実施している。

精密検査受診率が最も高いのは地域保健部門で、調査票の回収率は90%を超えている。実施団体の保健師による丁寧なフォローの成果である。これに対し産業保健部門は、個人への受診勧奨が難しい状況にあるため回収率が低いのが現状である。今後も、受診情報をもとに医療機関に結果を問合せなど工夫を重ねて回収率を高め、健康診断の精度向上に繋げていきたい。



「贈る人間ドック」(2010.9)



▲TVI 5きげんテレビ生出演 (2011.3.28)
【エコノミークラス症候群予防の運動】



▲IBCラジオ番組へ生出演 (2010.5.27)
【STOP! NO卒中 今日から始める脳卒中予防】

■母子保健

先天性代謝異常症は難治性のものが多い。しかし、中には早期治療により知的障害に陥るのを防ぐことができるものがある。そのためには生後間もない時期に発見し、適切な治療を施すことが重要となる。当協会では岩手県から委託を受け2001（平成13）年から対象6疾患の検査を実施している。

2011（平成23）年2月、タンデムマス検査が新たに導入された。これによりアミノ酸代謝異常検査の対象疾患が増え、さらに有機酸代謝異常検査や脂肪酸代謝異常検査が開始されたことで、従来の対象疾患に19の対象疾患が加わった。今まで以上に多くの先天性代謝異常症を見つけ出し、早期治療に貢献できると期待される。

また、胆道閉鎖症は予後不良の病気ではあるが、早期診断・早期手術により良好な予後が期待できる。当協会では医師会からの委託を受け、県内産婦人科医から回収された検体の検査とその集計を担当している。

■結核予防

結核や肺がんのない明るい社会を目指し行っている募金活動の複十字シール運動は、多くの団体の後援のもと、NPO法人岩手県婦人協議会と共同で展開している。今年度は、前年度より141,266円多い3,573,612円の浄財を寄せていただいた。未曾有の経済不況の中、このように多くの方にご理解・ご協力いただいたおかげで、前年度よりはるかに多い金額に達することができた。複十字シール運動によって寄せられた募金は、結核予防のための検診車の整備や普及・啓発活動、途上国の結核対策などに使われている。



▲いわてピンクリボンフェスタ
スマイルウォークへ参加（2010.10）



▲乳がん講演会にて（2010.11）
【自己検診法の体験】



▲血圧測定 陸前高田市にて
（2011.3）



▲健康調査 陸前高田市にて
（2011.3）

■健康支援

健康診断関連支援として、事後指導のほかに電話相談や講演会の講師派遣といった事業など実施している。平成22年度の健康診断事後指導は33団体156回であった。また、特定保健指導は2,331人と前年度を下回った。その他、電話相談や講演会の派遣等、全体的に前年度より減少傾向にあった。

2010（平成22）年度、職場を対象としたメンタルヘルス事業への取り組みを開始した。ストレス社会といわれる現在、「こころの病」を抱えた人たちは年々増えている。身体だけでなく、こころの健康も保たれてこそ、心身のバランスの良い健康人といえ、職場の能率向上や活性化にも繋がっていく。当協会は、メンタルヘルス対策に取り組む事業所を全面的にバックアップし、職場の環境改善や研修会の開催などをお手伝いしている。

2011（平成23）年3月11日に発生した東日本大震災は、沿岸地区の人々の生きる源を全て奪った。長引く避難所生活では、健康障害、こころの病気が懸念された。同年3月15日より当協会では、被災者支援チームを沿岸地区へ派遣し、健康状態の把握や健康相談等を行った。私たちは総合健康支援機関として、今後も被災者の方々のためにできることを続けて行く。

2. 検査・健診実施状況

(1) 総実施状況

区 分	実施件数	前年度実績	対前年度比 (%)
計	1,005,585	1,025,409	98.1
学 校 保 健 部 門	344,470	365,051	94.4
地 域 保 健 部 門	345,721	348,018	99.3
産 業 保 健 部 門	261,024	257,699	101.3
一 日 人 間 ド ッ ク	19,641	18,667	105.2
専 門 ド ッ ク	720	664	108.4
環 境 調 査 部 門	12,746	12,708	100.3
母 子 保 健 他	21,263	22,602	94.1

(2) 部門別検査実施状況

■学校保健

区 分	実施件数			前年度実績	対前年度比 (%)
	計	本 所	県南センター		
計	344,470	344,470		365,051	94.4
寄生虫卵検査 (糞便)	124	124		168	73.8
〃 (蟯虫)	34,281	34,281		36,526	93.9
尿 検 査	154,035	154,035		162,352	94.9
貧 血 検 査	55,567	55,567		59,608	93.2
心 臓 検 診	40,588	40,588		41,150	98.6
脊 柱 側 弯 検 診	8,462	8,462		8,655	97.8
生活習慣病予防健診	11,952	11,952		14,047	85.1
血 圧 測 定	4,813	4,813		5,044	95.4
脂 質 検 査	977	977		1,059	92.3
胸 部 X 線 検 査	24,238	24,238		24,344	99.6
腸 内 細 菌 検 査	771	771		602	128.1
各 種 二 次 検 査	8,078	8,078		8,005	100.9
そ の 他 の 検 査	584	584		3,491	16.7

■地域保健

区 分	実施件数			前年度実績	対前年度比 (%)
	計	本 所	県南センター		
計	345,721	320,072	25,649	348,018	99.3
特 定 健 診	79,890	79,890		81,309	99.3
後期高齢者健康診査	18,859	18,859		18,169	103.8
若年者健診/婦人の健康診査	2,972	2,972		3,129	95.0
結 核 検 診	69,685	46,353	23,332	74,954	93.0
肺 が ん 検 診	71,554	71,554		67,490	106.0
胃 が ん 検 診	714	714		875	81.6
大 腸 が ん 検 診	23,395	23,395		23,629	99.0
子 宮 が ん 検 診	8,250	8,250		8,915	92.5
乳がん・甲状腺検診	6,838	6,838		6,812	100.4
前立腺がん検診	32,462	32,462		30,450	106.6
骨粗鬆症予防検診	6,066	6,066		6,202	97.8
肝炎ウイルス検査	11,585	11,450	135	13,427	86.3
その他の検査・健診	13,451	11,269	2,182	12,657	106.3

■産業保健

区 分	実施件数			前年度実績	対前年度比 (%)
	計	本 所	県南センター		
計	261,024	162,353	98,671	257,699	101.3
一般健康診断	135,313	74,497	60,816	138,144	98.0
特殊健康診断	25,404	18,943	6,461	27,165	93.5
全国健康保険協会 生活習慣病予防健診	31,226	17,786	13,440	28,728	108.7
生活習慣病健診	40,344	29,118	11,226	39,562	102.0
THP	0			109	0.0
胸部X線検査	2,451	2,397	54	2,631	93.2
胃部X線検査	858	694	164	768	111.7
腸内細菌検査	1,407	978	429	1,400	100.5
各種二次検査	420	199	221	448	93.8
その他検査・健診	23,601	17,741	5,860	18,744	125.9

■人間ドック

区 分	実施件数			前年度実績	対前年度比 (%)
	計	本 所	県南センター		
一日人間ドック	19,641	11,310	8,331	18,667	105.2
オプション検査	4,032	3,501	531	3,694	109.1

■専門ドック

区 分	実施件数			前年度実績	対前年度比 (%)
	計	本 所	県南センター		
計	720	720	0	664	108.4
脳	451	451		439	102.7
心臓	72	72		63	114.3
肺	40	40		30	133.3
レディース	157	157		132	118.9

■環境保健

区 分	実施件数			前年度実績	対前年度比 (%)
	計	本 所	県南センター		
計	12,746	0	0	12,708	100.3
粉じん	4,331			4,554	95.1
特定化学物質	1,065			1,378	77.3
重金属	388			370	104.9
有機溶剤	4,416			4,130	106.9
騒音	1,908			1,804	105.8
その他	321			260	123.5
作業環境測定以外	317			212	149.5

■その他

区 分	実施件数			前年度実績	対前年度比 (%)
	計	本 所	県南センター		
計	21,263	1,498	228	22,602	94.1
先天性代謝異常等の検査	10,819			11,025	98.1
胆道閉鎖症マスキング検査	8,718			9,819	88.8
診療所	1,726	1,498	228	1,758	98.2

3. 主な検査・検診実施数の年度別推移

年 度	児童・生徒 寄生虫卵検査 (糞便)	児童・生徒 寄生虫卵検査 (蛭虫)	児童・生徒 尿検査	児童・生徒 心臓検診	特定健康診査 ／後期高齢者 健康診査	一 般 健康診断	特 殊 健康診断	全国健康保険協会 生活習慣病 予防健診	生活習慣病 健 診
平成22	124	34,281	154,035	40,588	98,749	135,313	25,404	31,226	40,355
21	168	36,526	157,124	41,150	99,478	138,144	27,165	28,728	39,562
20	186	39,054	161,017	42,401	82,469	144,079	28,708	27,481	38,107
19	211	40,433	164,244	44,072	86,957	141,024	28,403	25,365	16,001
18	227	49,258	167,653	44,214	86,768	138,245	26,685	23,719	15,500
17	218	54,099	160,294	45,119	90,053	138,056	25,257	23,148	15,784
16	288	61,111	163,540	46,127	92,016	138,324	22,807	21,443	16,438
15	371	64,733	159,892	46,900	104,732	140,223	22,156	18,752	17,191
14	2,004	66,751	100,816	47,288	104,363	133,293	21,407	18,374	27,999
13	2,451	69,646	101,532	48,978	103,222	138,112	22,645	16,554	27,739
12	2,938	71,666	100,382	50,442	101,256	140,522	24,034	16,047	27,112
11	4,164	73,005	96,691	52,601	100,231	141,179	22,993	14,780	26,886
10	4,304	74,999	94,586	53,996	100,997	146,833	24,161	12,035	26,744
9	4,479	78,089	85,398	54,498	100,916	140,616	24,224	9,682	26,647
8	6,056	83,690	84,548	55,656	102,201	137,702	24,073	8,812	25,715
7	10,312	97,927	85,284	55,779	106,273	130,934	23,583	8,025	25,531
6	14,812	123,396	81,793	55,847	106,541	123,764	22,700	6,812	25,266
5	17,204	126,419	81,651	56,777	107,838	113,566	22,747	6,897	25,004
4	19,953	129,032	80,241	57,132	106,164	105,155	20,889	5,543	23,093
3	26,054	132,354	77,712	59,434	107,142	99,391	21,353	4,525	22,773
2	28,849	139,597	73,969	60,599	102,811	85,179	19,987	3,738	20,445
1	29,714	135,161	69,494	60,483	93,290	55,086	24,832	3,596	25,580
昭和63	32,629	139,166	61,743	61,399	52,891	49,306	21,868	2,629	24,960
62	36,726	142,320	51,175	54,985	55,048	36,821	118,988	2,157	24,300
61	40,761	152,728	50,073	45,214	62,911	35,107	18,920	906	23,834
60	43,061	155,606	49,922	47,577	63,582	30,932	18,803	1,074	24,650
59	46,863	155,418	50,234	45,391	57,577	26,813	16,272	644	23,923
58	51,761	154,474	51,290	43,170	53,208	22,259	15,553	269	23,999
57	55,226	153,932	52,772	36,116	49,918	22,043	16,529		23,233
56	52,974	151,030	50,384	31,711	48,136	17,109	14,997		22,106
55	61,219	149,727	47,585	14,023	48,862	13,772	13,663		20,054
54	67,453	139,295	46,655	12,521	41,258	13,427	12,851		20,094
53	66,635	137,366	39,809	8,996	29,193	6,374	10,899		17,678
52	72,942	116,516	37,930	7,867	11,081	6,561	9,756		16,956
51	79,604	115,028	31,621	7,530	11,628		7,508		16,564
50	97,243	99,031	27,956	6,426	11,632		5,551		15,682
49	95,279	87,550	27,007	7,995	12,594		4,355		16,773
48	98,694	98,095	45,992	4,095	6,230		3,108		20,393
47	106,143	74,571	20,826	3,049	1,078		2,377		6,754
46	66,128	54,860	10,434		317		858		192

■：平成19年度までの数字は、多項目・基本健康診査を掲載

■：平成19年度までの数字は、循環器健診を掲載

一日人間 ドック	結核検診	肺がん 検診	胃がん 検診	大腸がん 検診	子宮がん 検診	腹 部 超音波 検 査	骨粗鬆症 予防検診	環境調査	特定保健 指 導	事後指導
19,641	72,136	72,399	65,402	102,330	23,298	25,715	26,577	12,746	2,331	156
18,667	79,729	68,344	63,514	99,401	23,343	24,287	28,557	12,708	2,620	114
18,559	94,831	46,260	61,859	92,601	17,651	23,359	26,327	14,050	3,382	147
18,587	106,458	41,368	59,856	71,681	17,968	23,339	28,868	14,283		256
18,432	108,265	39,860	57,175	81,450	18,012	22,843	28,955	13,411		306
17,613	115,537	37,416	54,416	86,937	18,670	22,730	26,784	11,527		548
17,271	161,852	37,184	52,285	82,592	24,199	21,935	24,323	11,589		504
17,307	158,281	42,232	50,725	80,094	19,866	22,265	25,710	11,329		654
17,117	165,309	42,494	49,598	88,863	20,066	24,770	24,138	10,267		801
16,802	161,911	44,049	48,089	84,530	20,268	26,125	26,332	9,905		850
16,618	162,838	43,927	46,124	81,277	17,604	24,938	25,462	11,246		849
16,166	173,517	44,904	43,392	79,095	16,714	22,785	26,060	11,193		746
15,952	179,367	49,080	42,267	77,647	14,855	22,124	25,688	11,217		627
15,609	187,965	49,942	38,103	68,603	14,983	21,116	27,330	11,496		632
14,331	84,578	50,671	36,494	60,325	14,395	21,581	25,553	9,783		644
13,259	67,814	39,207	33,880	55,261	13,607	15,979	10,236	9,493		538
12,624	69,742	31,865	25,887	40,912	13,079	14,647		8,284		553
11,779	77,166	31,663	28,676	46,084	12,380	14,119		7,840		514
10,371	78,518	25,896	24,209	34,077	9,760	12,322		4,810		584
9,976	68,330	20,452	22,367	24,595	8,739	11,239		4,787		424
9,649	50,403	19,038	19,080	12,399	7,989	10,465		4,302		497
8,759	49,879	13,860	20,371	9,567	5,455	9,391		3,857		517
8,807	28,944	12,283	18,981	10,200	3,630	8,889		3,442		541
8,344	16,759	8,584	15,487	10,252	3,433	8,664		3,441		518
8,099	16,373	23	11,218	8,746	2,885	8,073		2,795		426
8,228	15,648	11	11,504	8,769	2,992	8,217		2,257		411
7,057	14,431	9	9,279	8,596	2,635			1,631		390
6,660	14,033	17	8,174	7,966	2,362			1,368		336
6,645	7,715	105	7,579	8,600	2,567			140		409
4,449	6,152	6	5,311	6,413	1,804			94		218
3,219	8,272		3,196	5,873				73		161
	4,100			2,707				48		141
	9,209			2,327						111
				2,188						54
				1,979						52
				2,262						55
				2,340						84
										68
										129
										21

4. 判定基準（平成22年度 対象：成人）

検査項目		基準		判定		
血 圧 (mmHg)		最高血圧	最低血圧			
	基準範囲	90～129	84 以下	a		
	境界値	130～139	85～89	b		
	低 値	89 以下		b		
	高 値	140 以上	90 以上	c		
聴 力 (オージオメーターによる)		1000Hz (30dB聴取)	4000Hz (40dB聴取※)			
	聴 取	可	可	a		
			不可	36歳以上	b	
				36歳未満	c	
		不可	「可」または「不可」	c		
尿 糖	基準範囲	(-)		a		
	陽 性	(+)* 半定量値100mg/dlに相当		b		
	陽 性	(++)		c		
		検体不適（著しい肉眼的血尿等で試験紙色調判別不能）		不能		
血 糖 (ブドウ糖) (mg/dl)		空腹時	随 時			
	基準範囲	60～109	60～139	a		
	境界値	40～59	110～125	40～59	140～199	b
	低 値		39 以下		39 以下	c
	高 値		126 以上		200 以上	c
ヘモグロビンA1c (%)	基準範囲	4.0～5.4		a		
	境界値	5.5～6.0 低値		3.9 以下	b	
	高 値	6.1 以上			c	
ブドウ糖負荷試験 (GTT) (静脈血漿) (mg/dl)	血 糖	空腹時値	1 時間値	2 時間値		
	正 常 型	109以下	179以下	139以下		
	糖尿病型	126以上		200以上		
		正 常 型：全て正常型血糖値の場合			a	
	境 界 型：正常型にも糖尿病型にも属さない場合			b		
	糖 尿 病 型：どちらか一方または両方が糖尿病型血糖値の場合			c		
便 寄生虫卵	基準範囲	(-)：虫卵なし		a		
	陽 性	(+)：虫卵あり		c		
潜 血	基準範囲	(-)		a		
	陽 性	(+) 1日分の検体：今回提出した分は (-) でしたが、1 回分では判断できません		c		
	判定不能			不能		
蛋 白	基準範囲	(-)		a		
	弱 陽 性	(±)		b		
	陽 性	(+) 以上		c		
	判定保留	生理中で潜血 (+) 以上で蛋白 (+) 以上		保留		
		検体不適（著しい肉眼的血尿等で試験紙色調判別不能）		不能		
尿 潜 血	基準範囲	(-)		a		
	弱 陽 性	(±)		b		
	陽 性	(+) 以上		c		
	判定保留	生理中で (+) 以上		保留		
		検体不適（著しい肉眼的血尿等で試験紙色調判別不能）		不能		
ウロビリノーゲン	基準範囲	(±)～(+)		a		
	陽 性	(++)		b		
ビリルビン	基準範囲	(-)		a		
	陽 性	(+) 以上		c		
ケトン体	基準範囲	(-)		a		
	弱 陽 性	(±)		b		
	陽 性	(+) 以上		c		

※雇い入れ時健診の場合30dB聴取になります。

検査項目		基準		判定	
微量アルブミン	基準範囲	(-) ~ (±)		a	
	陽性	(+) 以上		c	
アミラーゼ (U/l)	基準範囲	101~909		a	
	基準範囲外			b	
亜硝酸塩	基準範囲	(-)		a	
	陽性	(+) 以上		c	
比重	基準範囲	1.002~1.030		a	
	高値	1.031 以上		b	
	低値	1.001 以下		b	
項目	判定	a	b	c	
尿	赤血球	5以下 /HPF	6~30 /HPF	(注1) 31以上 /HPF	
	白血球	10以下 /HPF	11~30 /HPF	31以上 /HPF	
	扁平上皮	10以下 /HPF	11~30 /HPF	(注2) 31以上 /HPF	
	移行上皮	10以下 /HPF	11~30 /HPF	31以上 /HPF	
	尿細管上皮	2以下 /HPF	3~10 /HPF	11以上 /HPF	
	沈	硝子円柱	5以下 /WF	6~19 /WF	20以上 /WF
		顆粒円柱	3以下 /WF	4~9 /WF	10以上 /WF
		その他の円柱		1~9 /WF	10以上 /WF
	渣	異型細胞			(+)
		異常結晶			(+)
		Trichomonas			(+)
		卵円形脂肪体			(+)
		脂肪球		(+)	
	脂肪変性細胞		1以上 /LPF		
赤血球数 (RBC) (104/ μ l)	基準範囲	420~549	380~489	a	
	境界値	380~419	350~379	b	
		550~599	490~549	b	
	減少	379 以下	349 以下	c	
	増多	600 以上	550 以上	c	
	血色素量 (Hb) (g/dl)	基準範囲	13.0~16.9	12.0~14.9	a
境界値		12.0~12.9	11.0~11.9	b	
		17.0~17.9	15.0~15.9	b	
低値		11.9 以下	10.9 以下	c	
高値		18.0 以上	16.0 以上	c	
血球容積 (Ht) (%)	基準範囲	40.0~49.9	35.0~44.9	a	
	境界値	38.0~39.9	32.0~34.9	b	
		50.0~52.9	45.0~46.9	b	
	低値	37.9 以下	31.9 以下	c	
	高値	53.0 以上	47.0 以上	c	
平均赤血球血色素量 (MCH) (pg)	基準範囲	28.0~33.9		a	
	境界値	26.0~27.9	34.0~35.9	b	
	低値	25.9 以下	高値 36.0以上	c	
平均赤血球容積 (MCV) (fl)	基準範囲	85.0~100.9		a	
	境界値	80.0~84.9	101.0~104.9	b	
	低値	79.9 以下	高値 105.0以上	c	
平均赤血球血色素濃度 (MCHC) (g/dl)	基準範囲	31.0~34.9		a	
	境界値	30.0~30.9	35.0~35.9	b	
	低値	29.9 以下	高値 36.0以上	c	

(注1) 生理中で他の所見が (a) の場合は判定保留

(注2) 女性で他の所見が (a) の場合は (b)

検査項目		基準		判定	
		男	女		
白血球数 (WBC) (102/ μ l)	基準範囲	40~94	35~89	a	
	境界値	35~39 95~104	30~34 90~99	b	
	減少	34 以下	29 以下	c	
	増多	105 以上	100 以上	c	
血小板数 (Plt) (104/ μ l)	基準範囲	15.0~35.9		a	
	境界値	13.0~14.9 36.0~39.9		b	
	減少	12.9 以下		c	
	増多	40.0 以上		c	
全血比重	基準範囲	1.054~1.064	1.051~1.064	a	
	境界値	1.049~1.053	1.046~1.050	b	
	低値	1.048 以下	1.045 以下	c	
	高値	1.065 以上	1.065 以上	c	
白血球分類等	好中球 (%)	基準範囲	31.0~79.9		a
		高値	80.0 以上	低値 30.9 以下	b
	リンパ球 (%)	基準範囲	10.0~59.9		a
		高値	60.0 以上	低値 9.9 以下	b
	単球 (%)	基準範囲	1.0~10.9		a
		高値	11.0 以上	低値 0.9 以下	b
	好酸球 (%)	基準範囲	8.9 以下		a
		高値	9.0 以上		b
	好塩基球 (%)	基準範囲	2.9 以下		a
		高値	3.0 以上		b
大型非染色球 (%)	基準範囲	3.4 以下		a	
	高値	3.5 以上		c	
芽球	(+)			c	
異型リンパ球	(+)	3~4% 未満		b	
	(++)	4% 以上		c	
核左方移動		桿状核好中球15%以上 (+)		b	
幼若顆粒球	(+)			c	
有核赤血球	(+)			c	
網赤血球数 (%)	基準範囲	0.8~2.4		a	
	減少	0.7 以下	増加 2.5 以上	b	
血清鉄 (Fe) (μ g/dl)	基準範囲	80~159		a	
	境界値	60~79 160~199		b	
	高値	200 以上	低値 59 以下	c	
総鉄結合能 (TIBC) (μ g/dl)	基準範囲	240~419		a	
	境界値	420~599	低値 239 以下	b	
	高値	600 以上		c	
フェリチン (FER) (ng/ml)	基準範囲	15.0~220.9	10.0~80.9	a	
	低値	14.9 以下	9.9 以下	b	
	高値	221.0 以上	81.0 以上	b	
赤血球沈降速度 (BSR) (mm/1時間)	基準範囲	1~11	1~18	a	
	境界値	12~15	19~23	b	
	促進	16 以上	24 以上	c	
	遅延	1 未満	1 未満	c	

検査項目		基準			判定
AST (GOT)	(U/l)	基準範囲	30 以下		a
		境界値	31～50		b
		高値	51 以上		c
ALT (GPT)	(U/l)	基準範囲	30 以下		a
		境界値	31～50		b
		高値	51 以上		c
γ-GTP (γ-グルタミールトランスペプチターゼ)	(U/l)	基準範囲	50 以下		a
		境界値	51～100		b
		高値	101 以上		c
ALP (アルカリ性フォスファターゼ)	(U/l)	基準範囲	120～389		a
		境界値	390～449	低値 119 以下	b
		高値	450 以上		c
LAP (ロイシンアミノペプチターゼ)	(U/l)	基準範囲	69 以下		a
		境界値	70～79		b
		高値	80 以上		c
LDH (乳酸脱水素酵素)	(U/l)	基準範囲	110～219		a
		境界値	220～249	低値 109 以下	b
		高値	250 以上		c
ZTT (硫酸亜鉛試験)	(U)	基準範囲	2.0～10.9		a
		境界値	1.0～1.9	11.0～12.9	b
		高値	13.0 以上	低値 0.9 以下	c
TTT (チモール混濁試験)	(U)	基準範囲	3.9 以下		a
		境界値	4.0～4.9		b
		高値	5.0 以上		c
ChE (コリンエステラーゼ)	(U/l)	基準範囲	200～469		a
		境界値	140～199	470～549	b
		高値	550 以上	低値 139 以下	c
総ビリルビン (TB)	(mg/dl)	基準範囲	0.2～1.1		a
		境界値	0.1～0.2未満	1.2～1.4	b
		高値	1.5 以上	低値 0.1 未満	c
直接ビリルビン (DB)	(mg/dl)	基準範囲	0.2 以下		a
		境界値	0.3～0.7		b
		高値	0.8 以上		c
間接ビリルビン (IB)	(mg/dl)	基準範囲	0.1～1.1		a
		境界値	1.2～1.6		b
		高値	1.7 以上		c
黄疸指数 (II)		基準範囲	3～7		a
		境界値	2	8～10	b
		高値	11 以上	低値 1 以下	c
総蛋白 (TP)	(g/dl)	基準範囲	6.4～8.2		a
		境界値	6.0～6.3	8.3～8.9	b
		高値	9.0 以上	低値 5.9 以下	c
アルブミン (Alb)		基準範囲	4.0～5.1		a
		境界値	3.7～3.9	5.2～5.4	b
		高値	5.5 以上	低値 3.6 以下	c
AG比 (A/G)		基準範囲	1.10～2.29		a
		境界値	0.90～1.09	2.30～2.59	b
		高値	2.60 以上	低値 0.89 以下	c

検査項目		基準				判定		
蛋白分画 (%)	アルブミン	基準範囲	59.0～72.0			a		
	グロブリン	α_1	基準範囲	1.8～3.4			a	
		α_2	基準範囲	5.5～10.0			a	
		β	基準範囲	6.5～10.8			a	
		γ	基準範囲	10.2～21.0			a	
		基準範囲外					b	
総アミラーゼ (Amy) (U/l)	基準範囲	35～119				a		
	境界値	30～34	120～164			b		
	高値	165以上		低値	29以下	c		
膵アミラーゼ (P-Amy) (U/l)	基準範囲	15～54				a		
	境界値	10～14	55～79			b		
	高値	80以上		低値	9以下	c		
総コレステロール (TC) (mg/dl)	基準範囲	130～219				a		
	境界値	100～129	220～239			b		
	高値	240以上		低値	99以下	c		
HDL-C (mg/dl)	基準範囲	40～99				a		
	境界値	35～39				高値	100以上	b
	低値	34以下					c	
LDL-C (mg/dl)	基準範囲	60～119				a		
	境界値	40～59	120～139			b		
	高値	140以上		低値	39以下	c		
中性脂肪 (TG) (mg/dl)	基準範囲	40～149		40～169		a		
	境界値	150～239		170～239		b		
	低値	39以下				b		
	高値	240以上		240以上		c		
			空腹時				随時	
β -リポ蛋白 (β -Lip) (mg/dl)	基準範囲	190～599				a		
	境界値	600～699		低値	189以下	b		
	高値	700以上				c		
リン脂質 (PL) (mg/dl)	基準範囲	155～259				a		
	境界値	260～289		低値	154以下	b		
	高値	290以上				c		
尿素窒素 (BUN) (mg/dl)	基準範囲	7～19				a		
	境界値	5～6	20～24			b		
	高値	25以上		低値	4以下	c		
クレアチニン (Cre) (mg/dl)	基準範囲	男 0.50～1.09		女 0.30～0.79		a		
	境界値	0.40～0.49	1.10～1.49	0.20～0.29	0.80～1.49	b		
	低値	0.39以下				0.19以下	c	
	高値	1.50以上		1.50以上		c		
			空腹時				随時	
推算糸球体ろ過率 (eGFR) (ml/min/1.73m ²)	基準範囲	60以上				a		
	境界値	50～59				b		
	高値	49以下				c		
尿酸 (UA) (mg/dl)	基準範囲	男 4.0～6.9		女 2.7～5.4		a		
	境界値	3.1～3.9	7.0～8.4	2.0～2.6	5.5～6.9	b		
	低値	3.0以下				1.9以下	c	
	高値	8.5以上		7.0以上		c		
			空腹時				随時	
ナトリウム (Na) (mEq/l)	基準範囲	139～147				a		
	境界値	137～138	148～149			b		
	高値	150以上		低値	136以下	c		
カリウム (K) (mEq/l)	基準範囲	3.4～4.9				a		
	境界値	3.0～3.3	5.0～5.4			b		
	高値	5.5以上		低値	2.9以下	c		

検査項目		基準			判定
塩素 (Cl) (mEq/l)	基準範囲	100～110			a
	境界値	96～99	111～114		b
	高値	115 以上		低値 95 以下	c
カルシウム (Ca) (mEq/l)	基準範囲	8.6～10.3			a
	境界値	8.0～8.5	10.4～10.9		b
	高値	11.0 以上		低値 7.9 以下	c
無機リン (Ip) (mEq/l)	基準範囲	2.5～4.4			a
	境界値	2.0～2.4	4.5～4.9		b
	高値	5.0 以上		低値 1.9 以下	c
HBs 抗原	基準範囲	(-)			a
	陽性	(+) 持続			b
		(+) 初回			c
HCV	基準範囲	現在「C型肝炎ウイルス」に感染していない可能性が極めて高い。			a
	陽性	現在「C型肝炎ウイルス」に感染している可能性が極めて高い。			c
RF (リウマチ因子) (IU/ml)	基準範囲	14.9 以下			a
	境界値	15.0～29.9			b
	高値	30.0 以上			c
CRP (C反応性蛋白) (mg/dl)	基準範囲	0.29 以下			a
	境界値	0.30～0.49			b
	高値	0.50 以上			c
CEA (癌胎児性蛋白抗原) (ng/ml)	基準範囲	4.9 以下			a
	境界値	5.0～6.9			b
	高値	7.0 以上			c
AFP (α -フェトプロテイン) (ng/ml)	基準範囲	19 以下			a
	高値	20 以上			b
	判定保留	妊娠中で 20 以上			保留
PSA (前立腺特異抗原) (ng/ml)		50 歳未満	50 歳以上		
	基準範囲	1.9 以下	2.9 以下		a
	境界値	2.0～3.9	3.0～3.9 未満		b
	高値	4.0 以上	4.0 以上		c
ペプシノゲン (PG)		PG I		PG I / PG II	
	組合せ	70.1 以上	かつ	3.1 以上	a
		70.0 以下	または	3.0 以下	b
		70.0 以下	かつ	3.0 以下	c
ヘリコバクター・ピロリ抗体 (Hp)	基準範囲	(-) ～ (±)			a
	陽性	(+) 持続			b
眼圧 (mmHg)	基準範囲	17 以上			a
	境界値	18～19			b
	高値	20 以上			c
眼底 K-W:Keith-Wagener 分類慶大変法		K-W 所見 (群)	H 所見 (度)	S 所見 (度)	
	内科所見	0	0	0	a
		I ～ II a	1～2	1～2	b
		II b～IV	3～4	3～4	c
	判定不能				不能
H・S:Scheie 分類循環協変法		特記所見なし			a
	眼科所見	軽度所見 (要経過観察所見)			b
		異常所見 (要精密検査所見)			c
		判定不能			不能

検査項目		基準		判定				
肥満度 (%ライン) 厚生労働省 『肥満とやせの判定表』より	やせすぎ	9 以下		b				
	やせぎみ	10～24		b				
	ふつう	25～74		a				
	ふとりぎみ	75～89		b				
	ふとりすぎ	90 以上		b				
妊娠時検査対象外								
BMI (Body Mass Index) (体格指数)	基準範囲	18.5～24.9		a				
	高 値	25.0 以上		b				
	低 値	18.4 以下		b				
妊娠時検査対象外								
腹 囲 (cm)		男	女					
	基準範囲	84.9 以下	89.9 以下	a				
	高 値	85.0 以上	90.0 以上	b				
妊娠時検査対象外								
体脂肪率 (インピーダンス法)	一日人間ドック他 用 (%)	男	女					
		基準範囲	15.0～24.9	20.0～29.9	a			
		境界値	25.0～29.9	30.0～34.9	b			
		低 値	14.9 以下	19.9 以下	b			
	高 値	30.0 以上	35.0 以上	c				
妊娠時検査対象外								
一日人間ドック レディースドック 用 (%)	基準範囲	18～39歳		40～59歳		60歳以上		
		男	女	男	女	男	女	
	境界値	11.0～21.9	21.0～34.9	12.0～22.9	22.0～35.9	14.0～24.9	23.0～36.9	a
	低 値	22.0～26.9	35.0～39.9	23.0～27.9	36.0～40.9	25.0～29.9	37.0～41.9	b
	高 値	10.9以下	20.9以下	11.9以下	21.9以下	13.9以下	22.9以下	b
		27.0以上	40.0以上	28.0以上	41.0以上	30.0以上	42.0以上	c
妊娠時検査対象外								
細胞診	子宮頸部	診 断		指示事項				
		Class	N I L M	特記所見なし		a		
			ASC-US, ASC-H, LSIL, HSIL, SCC AIS, Adenocarcinoma, Other maild	要精密検査		b c		
			検体不適正		不能			
	子宮体部	陰 性			特記所見なし		a	
		疑 陽 性			要精密検査		c	
		陽 性			要精密検査		c	
喀 痰	区 分 (肺がん 学会による)	B		なし		a		
		C		3～6ヶ月後要再検査		b		
		D, E		要精密検査		c		
		A		材料不適のため診断不能		不能		

検査項目		基準		判定	
画像診断	心電図 (安静時・運動負荷時・ホルター)	特記所見なし		a	
	胃部X線	軽度所見 (処置不要または要経過観察所見)		b	
	超音波	異常所見 (要精密検査所見)		c	
	MRI・MRA	判定不能		不能	
	マンモグラフィ (MMG)	特記所見なし		a	
		軽度所見 (処置不要または要経過観察所見)		b	
		異常所見 (要精密検査所見)		c	
		区分および定義 (肺がん学会による)			
	胸部X線 (肺がん検診)	B	異常所見なし	a	
		C	精密検査を要しない所見	b	
	D, E	精密検査を要する所見	c		
	A	読影不能	不能		
	胸部X線 (肺がん検診以外) マルチヘリカルCT	特記所見なし		a	
		軽度所見 (処置不要または要経過観察所見)		b	
		異常所見 (要精密検査所見)		c	
内臓脂肪CT (内臓脂肪面積 cm ²)	基準範囲	99.9 以下		a	
	高 値	100.0 以上		b	
肺機能		%肺活量			
		1 秒率 (%)			
		基準範囲	80.0 以上	70.0 以上	a
		閉塞性	80.0 以上	55.0~69.9	b
			80.0 以上	54.9 以下	c
		拘束性	60.0~79.9	70.0 以上	b
			59.9 以下	70.0 以上	c
		混合性	60.0~79.9	55.0~69.9	b
			60.0~79.9	54.9 以下	c
			59.9 以下	69.9 以下	c
酸素飽和度 (%)	基準範囲	95~100		a	
	高 値	91~94		b	
	低 値	90 以下		c	
ABI (足関節上腕血圧比)	基準範囲	0.9~1.2		a	
	高 値	1.3 以上		b	
	低 値	0.8 以下		c	
CAVI (心臓足首血管指数) (m/s)	基準範囲	8.9 以下		a	
	高 値	9.0 以上		c	
BNP (ヒト脳性ナトリウム 利尿ペプチド) (pg/ml)	基準範囲	39.9 以下		a	
	境界値	40.0~59.9		b	
	高 値	60.0 以上		c	
高次脳機能検査 (改訂 長谷川式)	基準範囲	21点 以上		a	
	低 値	20点 以下		c	
音響的骨評価値 (OSI) (10 ⁶) ※18歳以上の全年齢)		男	女		
	基準範囲	2.619 以上	2.428 以上	a	
	境界値	2.328~2.618	2.158~2.427	b	
	低 値	2.327 以下	2.157 以下	c	
唾 液	LDH (U/l)	基準範囲	0~270		a
		境界値	271~281		b
		高 値	282 以上		c
Hb (μg/ml)	基準範囲	0~1.6		a	
	境界値	1.7~4.1		b	
	高 値	4.2 以上		c	

<判定の見方>

定	義	判定
基準範囲内または特記所見なし		a
境界値または軽度所見		b
異常値または異常所見		c
判定保留		保留
判定不能または検体不適		不能